

今出

発行日 平成29年7月20日

発行責任者 校長 小玉 陽彦 No.16

URL <http://www.ishikawa-j.fks.ed.jp/>



有意義な夏休みを!

4月6日に入学式を行い、早いもので、本日、第1学期の終業式を行いました。この1学期間保護者の皆様方には、学校行事、PTA活動、部活動等多方面にわたり、ご支援ご協力を賜りましてありがとうございました。生徒達も大きく成長し無事1学期を終了することができました。終業式の中で、私から次のような内容の式辞を生徒に話しました。

校長式辞より

- 1学期の反省を各自がしっかり行い、そして、夏休みの目標をしっかり持ち、事故のない有意義な休みにしてください。
- 自分の好きなこと得意なことを夢中になって取り組んでください。
- 県中体連総合大会及び陸上競技で東北大会、全国大会に出場する選手の皆さんは、悔いが残らないよう精一杯試合をしてください。
- 夏の暑さや誘惑に負けず、自分に厳しく、自分の行動に責任を持ち、自分自身を鍛えてください。そして、何よりも自分の命を大切にしてください。
- 2学期の始業式8月25日には、全員元気に登校し、再会することを願っています。

以上のことを生徒達に伝えました。休み中は、ご家庭で過ごす時間が多くなりますので、保護者の皆さんからお子さんとの約束事やこれだけはしてほしいことなど、夏休みだから出来ることを大いに体験させ、有意義な時間を過ごせるよう宜しくお願い致します。
なお、学校からは夏休みの過ごし方についてプリントを配布致しましたので、ご家庭でもご確認いただきたいと思致します。また、休み中でも学校を開放しますので、クーラーの効いた涼しい部屋で学習するのも効果があります。積極的に学校にきて学習してほしいと思致します。

雑感 「命とは」

先日、105歳で死去した聖路加国際病院名誉院長の日野原重明さんの未公開フィルムをNHKテレビで放映していました。そこで、日野原さんが生前、命の大切さを常に考え、医師として、人間として他人の命はもとより自分自身の命を常に念頭に置き、全国各地を周り、講演会で自分の考えを伝えたそうです。また、全国各地の小中学校にも出向き、小学生に対して「いのちの授業」をとおして「命とは」「生きるとは」について講演をしていたそうです。その中で日野原さんは「命というのは、人間が使える時間。自分自身のもっている時間を誰かのために使うものだ」と訴えていたそうです。更に「60歳は午前中、60歳を過ぎてからが本格的な時間だ」と訴えていました。これを聞いたとき、「中学3年生はまだ15歳。1日に例えたら夜明け前である。周りにはまだ薄暗く、周りは見えない頃である。そんな中を中学生が生きていると思うと、暗闇の時は、安全な場所を示し、導いてやり、道を外しそうなになったら、そっと正しい道を教え、そして、やがて陽が昇り、自分のやりたいこと、やりたいことを見いだし、自分の進路を切り開いて大きく成長するのではないか。また、中学生は、自分が使える時間、誰かのために使える時間が豊富にあります。命とは、自分自身のものであるには違いないが、誰かのための命でもある。親から授かった貴重な命を大切にしなければならない。」と老婆心ながら感じたものでした。そして、「60歳を過ぎてもこれからが人生だ」と言える人間になりたいものだ、還暦を来年に控えた私が痛感したのも正直なところ。頑張ろう中学生!

曜	時間割・行事等	昼	スクールバス	今後の行事等
8/21	月 夏季休業日			
22	火 夏季休業日			8/28 3年生実力テスト
23	水 夏季休業日			8/30 石川地区英語弁論大会
				8/31 県下小中学校音楽祭(合唱)
24	木 夏季休業日 石川地区音楽祭 矢吹文化センター			9/1 支部駅伝激励会
25	金 2学期始業式 全校集会 職員会議 部活動なし(特設駅伝部のみ実施)	給食	15:40	9/2 須賀川信金杯野球大会
26	土 ろうきん杯サッカー大会(石川中校庭) チャレンジ県南ベースボール大会			9/3 玉川村少年剣道大会
27	日			